

9月の内々定率は89.8%で前年比3.3pt増 3割の就活生が就職活動の挫折経験は「人生の中でもショックな体験」と回答 一方で「成長の機会」「気持ちを切り替えて再挑戦した」など前向きな声も 「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査（9月）」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、2025年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2025年卒 大学生活動実態調査(9月)」の結果を発表しました。

TOPICS

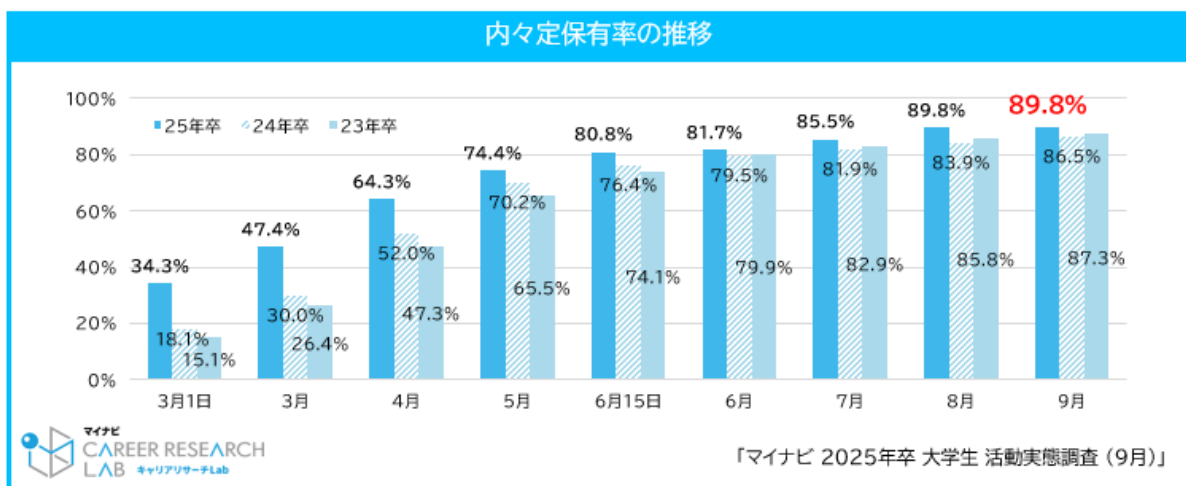
- ◆ 2025年卒業予定の大学生・大学院生の内々定率は89.8%(前年比3.3pt増)。内々定を持つ学生は内定式を見据え、就職活動終了は10月を予定【図1、2】
- ◆ 15人に1人の学生は内々定を保有しつつ、今後も活動継続予定。そのうち今後の選考受験予定は1社が最多(19.7%) 内定式後も受験する可能性も【図3、4】
- ◆ 内々定保有者の4人に1人がキャリア形成活動や就職活動の中で最初に実施したことは「インターンシップへの参加」【図5】
- ◆ 3割の就活生が就職活動の挫折経験は「人生の中でもショックな体験」と回答【図6、7】

【調査概要】

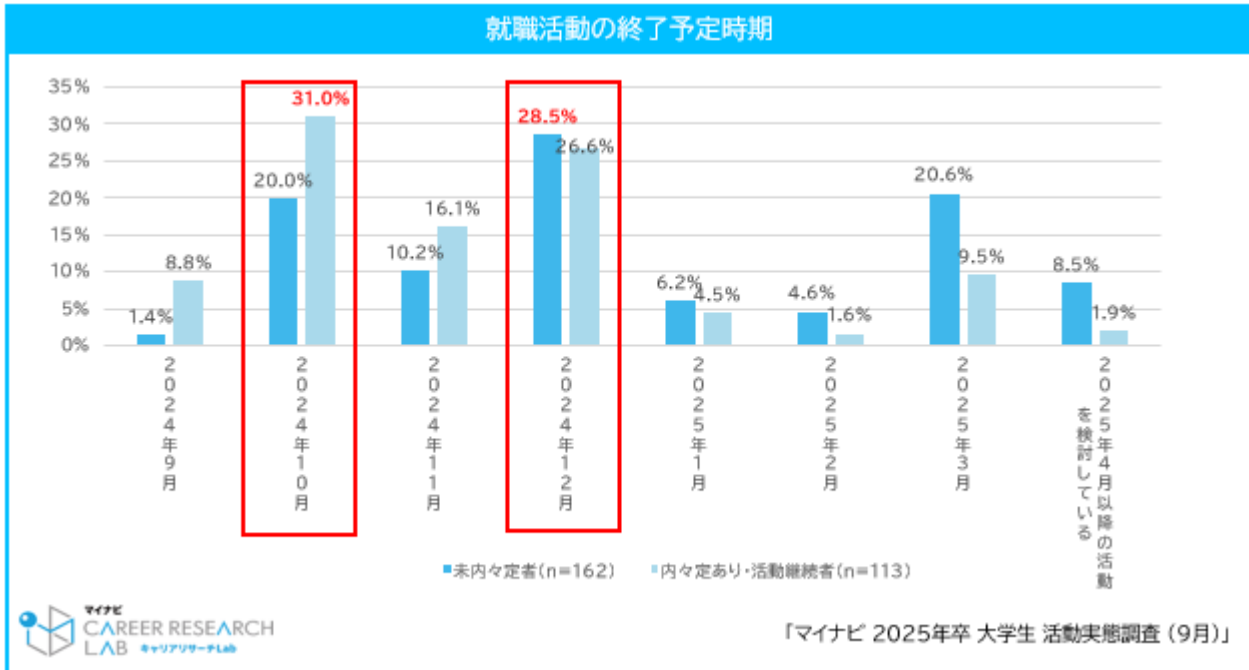
2025年卒業予定の大学生・大学院生の内々定率は89.8%(前年比3.3pt増)
 内々定を持つ学生は内定式を見据え、就職活動終了は10月を予定

25年卒学生の9月末時点での内々定率は89.8%(前年比3.3pt増)だった。就職活動の終了予定の時期を聞くと、内々定を保有しつつも活動を継続している学生は10月、未内々定者は12月という回答が最多となった。内々定を保有している学生は内定式を見据えて活動を終了する予定と推察される。【図1、2】

【図1】



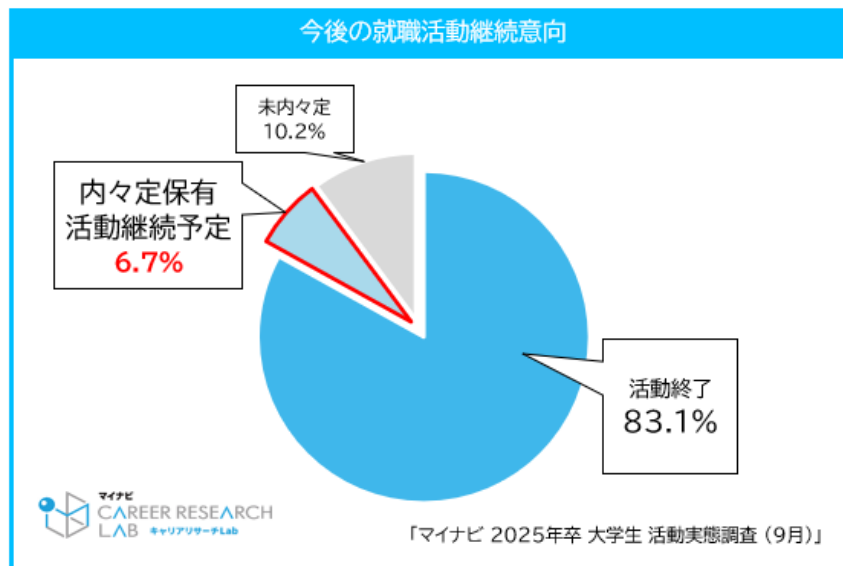
【図 2】



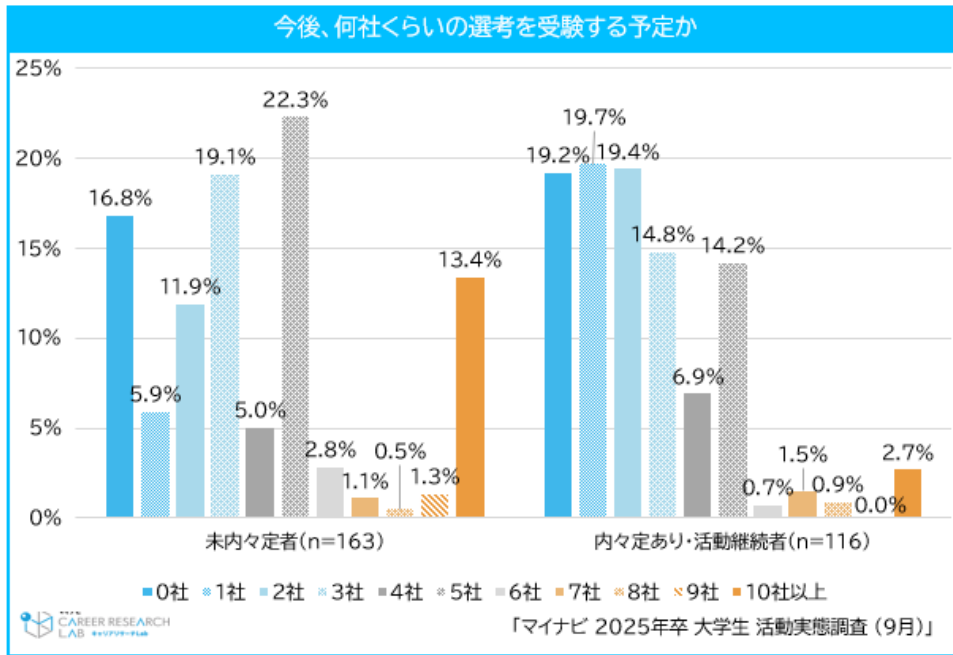
15人に1人の学生は内々定を保有しつつ、今後も活動継続予定
そのうち今後の選考受験予定は1社が最多(19.7%) 内定式後も受験する可能性も

今後の就職活動継続意向をきいたところ、「活動終了」が83.1%、「未内々定」が10.2%、「内々定あり活動継続」が6.7%となり、15人に1人の学生は内々定を保有しつつ、今後も活動継続予定であることがわかった。今後の選考受験予定を聞いたところ、未内々定者は「5社(22.3%)」、内々定を保有しつつも活動を継続している学生は「1社(19.7%)」が最多であった。内々定保有かつ活動継続者は10月に活動を終了する割合が高かったが、それまでに再び選考を受ける可能性が示唆された。また、「10社以上」と回答した未内々定者は13.4%と、引き続き積極的に選考を受験する学生もいることが示された。【図 3、4】

【図 3】



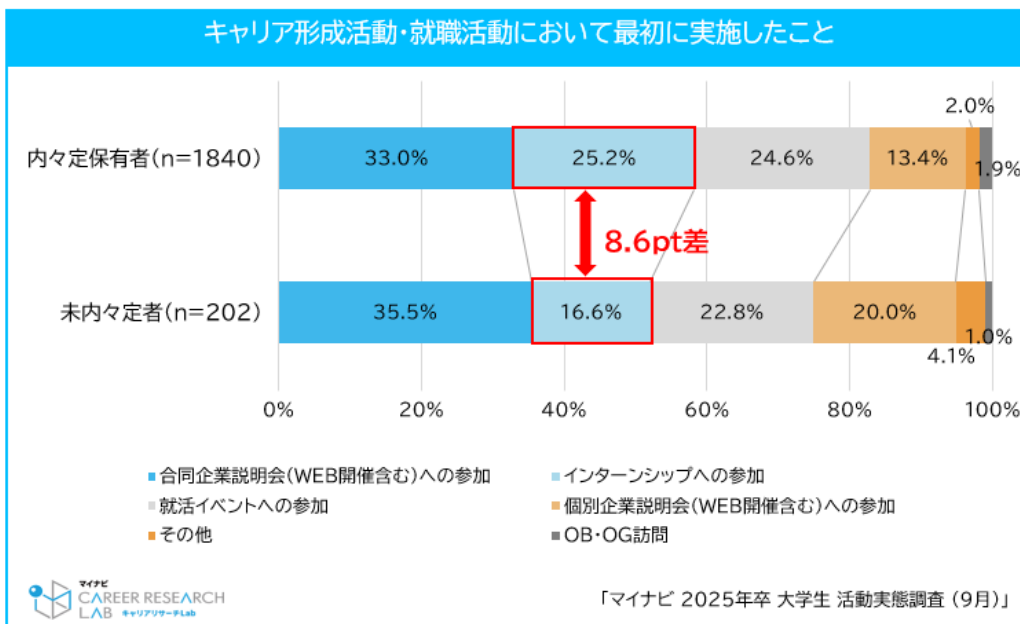
【図 4】



内々定保有者の 4 人に 1 人がキャリア形成活動や就職活動の中で最初に実施したことは「インターンシップへの参加」

キャリア形成活動や就職活動で最初に実施したことを聞いたところ、未内々定者・内々定保有者ともに「合同企業説明会への参加」が最多であった。次に多かった活動は、未内々定者では「就活イベントへの参加(22.8%)」、内々定保有者は「インターンシップへの参加(25.2%)」であった。インターンシップの参加割合については、内々定保有者と未内々定者に 8.6pt の差があった。インターンシップへの参加により、学生の企業理解や自己理解が深まり内々定獲得にも影響があったと推察される。【図 5】

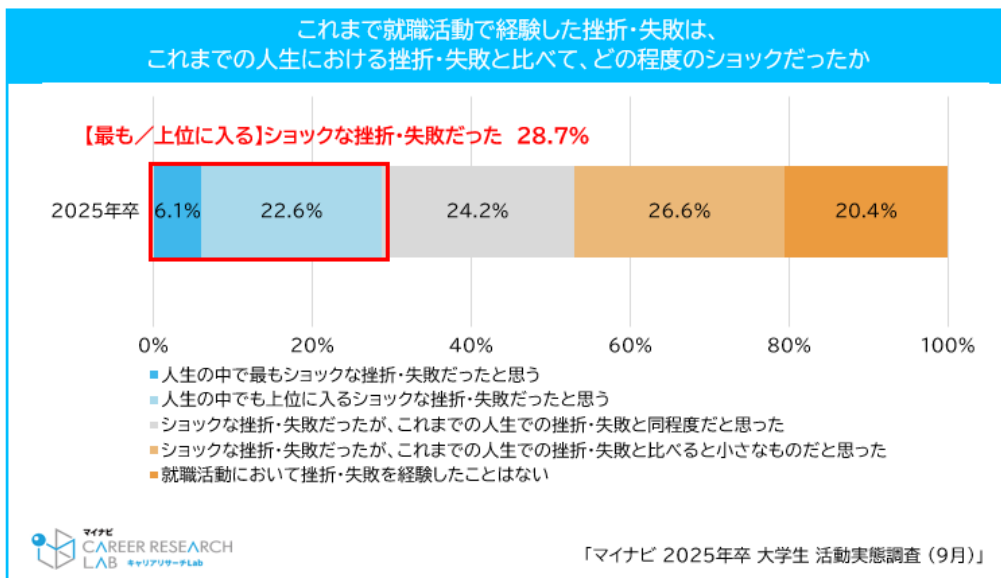
【図 5】



3割の就活生が就職活動の挫折経験は「人生の中でもショックな体験」と回答

学生に就職活動で経験した挫折・失敗は、これまでの人生における挫折・失敗と比べて、どの程度のショックだったかを聞いたところ、約3割が「人生の中でもショックな体験だった」と回答した。自由回答では、「人格を否定された」「ショックから立ち直れていない」などの気持ちが見受けられたが、周りに相談をしたり、少し就職活動を休むなど自分なりのリフレッシュ方法で乗り越えたエピソードも語られた。人生の中でもショックな体験を受けることもあれど、それを乗り越え、就職活動を行っている様子が伺える。【図6、7】

【図6】



【図7】

どのような挫折・失敗だったか。また、その挫折・失敗をどのように乗り越えたり、気分を切り替えたりしたか

| 属性 | どのような挫折・失敗だったか。また、その挫折・失敗をどのように乗り越えたり、気分を切り替えたりしたか |
|------|--|
| 理系男子 | 連絡がこないまま期日を迎えたためダメだったのだと途方に暮れてしまった。立ち直れたり気持ちを切り替えられてはいない。 |
| 文系女子 | なかなか面接が受からなくて持ち駒も少なくなる中で友達とどんどん内定を獲得して髪色やネイルをし始めた時自分は就職できるのか悩んだ。TikTokやXで同じようにまだ就活を頑張ってる人や24卒、23卒の先輩が12月まで就活していたけどいい会社にはいったと言っていたので自分が納得するまで頑張りました。 |
| 理系男子 | 自己分析を行った上で面接したところ、フィードバックにてあまりピンと来ないと言われ、 人格を否定された気がした 。今までそのような経験がなかったため挫折した。そこで自己分析をもう一度行い、伝え方にも注意してみたところ簡潔に伝えることが重要だとわかった。 |
| 理系女子 | 以前は自分のパーソナリティや経験に自信があり、積極的に就職活動に取り組んでいたが、志望していた業種の企業になかなか内定をもらえず、自分に自信が持てなくなっていた。家族や友人、先生に相談し、高望みをせずに等身大で働けそうな企業や、条件を見直すことで、自分が挑戦したいことに重点を置いた企業に出会うことができた。 |
| 文系男子 | これまで高校や大学の受験の際に「落とされる」という経験をしたことがなかったため、就活の場で企業から不採用を宣告されるたびに少なからず動揺した。しかし持ち前のストレス耐性の高さから、すぐに気持ちを切り替え、前向きに次の企業の選考に向けて臨むことができた。 |
| 文系女子 | リラックスして面接に挑むことができ、面接官の反応もよかったのに落ちてしまったときは非常に ショックで引きずりました 。 |
| 理系男子 | 志望業界の企業に一つも受からなかったが、自分の実力が足りないことを認めあきらめた。 |
| 文系男子 | 学生生活とは違い、今後の長い生活がかかっているということで、将来に対する不安感がなかなか抜けずに苦しい状況が続いて、就職活動を続けるのも憂鬱になってしまった。就活真っ只中ではあったが、数ヶ月自分を気休めさせて再度就活に取り掛かることが出来た。自分の好きなことを思う存分にして、できるだけ就活から離れられるように意識して、気持ちが前向きになった時に再挑戦できた。 |
| 理系女子 | 最終面接で作文を書くことになり、自分は予定の時間を超過してしまった一方で、他の就活生が短い時間で分量の文章を書いていたため、能力の差を感じてショックを受けた。その反面、与えられたテーマが漠然としていたことに疑問を感じたことや、最終面接時の会話で引っかけがあったため、 その企業とは合わなかったのだと捉えて気持ちを切り替えた 。 |
| 文系女子 | インターンシップで同じグループだったメンバーたちが優秀でついていけなかったこと、グループワークで話についていけなかったり発言できなかつたりし、委縮してしまった。雑談さえもままならなくなってしまい、挫折を感じた。乗り越え方としては、終了後に仲間や社員の方からアドバイスを乞うた。今振り返ると、自分自身の成長につながる仲間との出会いだと感じている。 |

「マイナビ 2025年卒 大学生 活動実態調査 (9月)」

【調査担当者コメント】



内定式直前の学生の実態をきいた本調査では内々定を保有しつつも活動を継続している学生は10月まで活動を続ける割合が高く、内定式後も学生の動きがあることがわかりました。そのため、企業は内定式後も引き続き、学生が感じている不安へのフォローや条件のミスマッチがないか確認を行っていただければと思います。その一方で未内々定者も活動を続けていますので、採用活動を続ける企業については引き続き学生に真摯に向き合っていただければと存じます。また、就職活動中に挫折や失敗をしたという学生も少なくはないと思います。今回の調査でそういった経験をしたのが自分だけではないということを知っていただき、前向きに就職活動を進めていただければと思います。

マイナビキャリアリサーチラボ 研究員 中島 英里香

【調査概要】「マイナビ 2025 年卒大學生活動実態調査」

○調査期間／2024年9月25日(水)～9月30日(月)

○調査方法／マイナビ 2025 の会員に対する WEB アンケート

○調査対象／2025年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生

○調査機関／自社調べ

○有効回答数／2,042名(文系男子 402名 文系女子 768名 理系男子 475名 理系女子 397名)

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が 100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら

(https://career-research.mynavi.jp/research/20241008_87018/)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。

蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 三木 Email:koho@mynavi.jp